

授業科目	看護学研究法 Nursing Research Methodology		1・2 学年	前期	必修	30 時間	2 単位
担当教員	【氏名】 ◎石田 和子 大久保明子 岡村 典子 谷本 千恵	【所属】 新潟県立看護大学 同上 同上 同上	【氏名】 高柳 智子 伊豆上智子 高林 知佳子 常盤 洋子	【所属】 新潟県立看護大学 同上 同上 同上			
【到達目標】 基本的な研究デザインとその基盤となる前提や科学的推論方法を学ぶ。 看護実践の場における研究活動を展開するために必要な知識を学び、研究課題の設定、計画立案、実施、論文作成に必要な基本的能力を養う。また、卓越した看護実践に求められる Evidence Based Medicine (EBM)/Nursing (EBN) へのアプローチを学ぶ。							
【授業概要】 看護学における研究のプロセスと方法を幅広く学び、修士課程における各自の研究の基盤作りをする。 授業は、主に学生によるプレゼンテーションとそれに基づくディスカッションによって展開する。							
【授業計画】							
回数	授業形態	学習課題	学習内容		備考		
1	講義	授業の意義と学習方法	授業「看護学研究法」の目的と展開 看護学研究の定義 看護学研究実施に向けた必須知識とその修得		石田		
2-3	講義 演習	文献検索 1	文献検討の意義 データベースの活用方法 和文献検索の実際		大久保		
4	講義 演習	文献検索 2	海外文献検索の実際		岡村		
5-6	プレゼン 討議	質的研究とその方法 1	質的研究と量的研究 質的研究成果の信用性とその限界、 ①内容分析 ②グラウンデッド・セオリー		石田		
7	プレゼン 討議	質的研究とその方法 2	① 現象学的研究 ② エスノグラフィック研究 ③ 探索的-記述的質的研究		谷本		
8	講義	量的研究とその方法 1	量的研究デザイン 変数の種類 標本抽出		高柳		

9	講義	量的研究とその方法 2	観察法／面接法／質問紙法 生物学的測定	高柳
10	講義	量的研究とその方法 3	信頼性と妥当性、 量的研究の批判的分析 量的研究の限界	高柳
11	講義	研究計画書の作成方法	研究課題の選定、研究計画書の形式 と作成手順研究計画書の書式とバリ エーション	伊豆上
12	講義	論文の書き方	研究論文の書き方	伊豆上
13	講義	研究成果を実践に活かすアプ ローチ	①evidence based nursing: EBN evidence based medicine: EBM とは、その背景 ②エビデンスに基づく看護介入の ステップ ③エビデンスに基づく診療ガイド ラインの活用	高林
14	講義	看護研究と倫理	研究倫理 本学倫理審査のプロセス	常盤
15	演習	まとめ		石田

【評価方法、評価基準】

授業への主体的参加を重視し、出席、討論素材の準備、プレゼンテーション、討論への参加状況、レポートにより各教員が単元毎に評定する。それらを合算し、総合的評価とする。授業 1 コマ (90 分) につき 7 点 (15 回目のみ 2 点) が配点する。

【テキスト】

特定のテキストは使用しない。

【参考書・資料等】

バーンズ&グローブ：黒田裕子他訳(2015)：看護研究入門原著第7版，エルゼビア・ジャパン。
アメリカ心理学会著，前田樹海，江藤裕之（2023）：APA論文作成マニュアル第3版，医学書
院。講義の際、さらに文献を提示する。

【受講、課題、資料配布等のルール】

欠席の場合は必ず担当教員に事前に連絡をする。
プレゼンテーションを行う学生は、授業前に人数分をコピーする。
プレゼンテーション、ディスカッションは学生が進行する。

【教員からのメッセージ】

大学院の研究的な探究の基盤となります。しっかり修得し自らの課題探究に役立てましょう。

【オフィスアワー】

各教員に確認のこと

授業科目	看護理論 Nursing Theory	1・2 学年	後期	必修	30 時間	2 単位
担当教員	【氏名】 ◎岡村 典子	【所属】 新潟県立看護大学	【氏名】	【所属】		
【到達目標】 高度な看護実践および看護学の考究の基盤となる看護理論を理解するとともに、理論の構成要素、種類を学習し、各理論の理解を深める。さらに、看護理論の実践への適用の有用性について検討する。						
【授業概要】 高度な看護実践および看護学の考究の基盤となる看護理論の構成要素、種類とその発展過程、評価の枠組みについて理解する。また、代表的な看護理論の概念、特徴を明らかにし、理論と看護実践のつながりについて理解する。さらに、本科目で学んだ看護理論を用いた事例分析を通して、実践への適用の有用性を検討する。 授業は、講義に加え、学生によるプレゼンテーションとそれに基づくディスカッションによって展開する。						
【授業計画】						
回数	授業形態	学習課題	学習内容	備考		
1-2	講義	授業ガイダンス 理論とは何か 看護理論の意義・重要性	理論とは、看護理論とは、 看護理論の構成要素 看護理論の看護実践・教育・研究における意義及び重要性	岡村		
	講義	看護理論の歴史と動向 看護理論の種類 看護理論の評価	看護理論の歴史的発展過程 理論の種類（広範囲理論、中範囲理論、小範囲理論） 看護理論の評価における枠組	岡村		
3	講義	相互作用指向の看護理論	ペプロウの理論の特徴、主要概念の理解 臨床事例への適用	岡村		
4-5	グループワーク	システム指向の看護理論	キングの理論の特徴、主要概念の理解 臨床事例への適用	岡村		
6	プレゼン講評		5-6 回の内容に関する学習課題の発表	岡村		
7-8	グループワーク		ロイの理論の特徴、主要概念の理解 臨床事例への適用	岡村		
9	プレゼン講評		8-9 回の内容に関する学習課題の発表	岡村		
10	グループワーク	ニード指向の看護理論	オレムの理論の特徴、主要概念の理解 臨床事例への適用	岡村		

11	プレゼン 講評		10 回の内容に関する学習課題の発表	岡村
12	グループ ワーク	ケアリング概念と看護理論	レイニンガーの理論の特徴、主要概念の理解 臨床事例への適用	岡村
13	プレゼン 講評		12 回の内容に関する学習課題の発表	岡村
14	講義	システム指向、ニード指向、ケアリング概念と看護理論 トランジション理論の紹介	4-13 回までのまとめ トランジション理論とは理論の活用事例	岡村
15		まとめ	到達目標の評価・確認	岡村
【評価方法、評価基準】 試験 60%、プレゼンテーション 40%				
【テキスト】 筒井真優美編集(2020)：看護理論家の業績と理論評価 第 2 版，医学書院。				
【参考書・資料等】 舟島なをみ(2007)：質的研究への挑戦 第 2 版，医学書院。 Barbara J.Stevens 著，中西睦子，雨宮悦子訳(1982)：看護理論の理解のために その分析／適用／評価，メディカル・サイエンス・インターナショナル。 Gertrude Torres 著，横尾京子，田村やよひ，高田早苗監訳(1992)：看護理論と看護過程，医学書院。 太田喜久子，筒井真優美監訳(2008)：フォーセット 看護理論の分析と評価，医学書院。 他、講義内容に応じて適宜紹介する。				
【受講、課題、資料配布等のルール】 欠席の場合は必ず事前に連絡をする。 プレゼンテーションを行う学生は、予め課題に関する資料を配布する。 グループワーク、プレゼンテーションは学生が進行する。				
【教員からのメッセージ】 自己の看護実践と看護理論との関連を理解し、より良い看護実践のために活用できるよう、主体的な参加を期待します。				
【オフィスアワー】 事前にメール等で日時を予約してください。				

授業科目	看護倫理特論 Issues in Nursing Ethics		1・2 学年	前期	必修	30 時間	2 単位
担当教員	【氏名】 ◎石田和子 樺澤三奈子 倉林しのぶ	【所属】 新潟県立看護大学 同上 高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科	【氏名】 宮坂道夫 柏木夕香	【所属】 新潟大学大学院保健学研究科 新潟県立がんセンター新潟病院			
【到達目標】 看護倫理の意思決定について学びを深め、倫理的感受性を精練されたものにして行くとともに、倫理調整能力を高める。							
【授業概要】 医療倫理、看護倫理の歴史の変遷の理解から、専門看護師として倫理的課題への意思決定支援あるいは調整者として役割を果たすことの必要性和意義について考察する。倫理的意決定に必要な知識として、倫理原則論、手順論、ナラティブアプローチなどを学習する。終末期、性と生殖、限られた医療資源の配分や情報の共有についてなど医療現場の様々な領域における倫理的問題の存在と、その分析、調整と意思決定について事例をとりあげ検討する。対象者の自律と看護職能の自律を組織的に活性化させる（エンパワメントする）方法について検討を深める。							
【授業計画】							
回数	授業形態	学習課題	学習内容			備考	
1-3	講義	医療倫理の変遷 医療倫理学の方法①	医療倫理の歴史・変化・現在 方法論の理解(1)			宮坂	
4-6	講義 討議	医療倫理学の方法②	方法論の理解(2) : 事例をとおして考える			宮坂	
7-8	講義 討議	看護倫理の現在	看護倫理に関する基準・理論 看護倫理の歴史、重要概念			倉林	
9-10	講義 ・討議	看護実践の倫理①	看護倫理学の方法 事例分析			樺澤	
11-12	プレゼンテーション・討議	看護実践の倫理②	事例分析：問題とその分析、調整、意思決定			樺澤	
13-14	プレゼンテーション・討議	看護実践の倫理③	専門看護師による意思決定支援 倫理調整の事例検討			柏木	
15	討議	専門職の倫理	専門職に求められる倫理 看護職の使命とエンパワメント			石田	
【評価方法、評価基準】 授業への取り組みとプレゼンテーション（60%）、レポート（40%）により評価する。							
【テキスト】 特に指定しない。							
【参考書・資料等】 宮坂道夫（2016）：医療倫理学の方法 第3版：原則・ナラティブ・手順，医学書院。 その他をその都度，提示・紹介します。							

【受講、課題、資料配布等のルール】

初回の授業開講時に説明する。

【教員からのメッセージ】

積極的な参加を期待します。

【オフィスアワー】

授業科目	看護政策論 Nursing Policy	1・2 学年	前期	選択 CNS 選択必修	30 時間	2 単位
担当教員	【氏名】 担当教員未定	【所属】	【氏名】	【所属】		
【到達目標】 看護を取り巻く保健医療福祉の政策課題の分析と政策決定のプロセスを知るとともに、看護職の立場で政策形成に関与することの意義を学ぶ。						
【授業概要】 看護政策は、安全で良質な保健医療福祉サービスを提供するところの根幹をなし、看護の実践現場に多大な影響を及ぼすとともに、看護の課題解決にも直結している。また保健医療福祉の政策課題は、多方面と複合的に関連しているため、政策立案や制度設計には総合的な判断によるアプローチが必要である。保健医療福祉政策の事例を通して政策プロセスや課題を総合的に検証しながら、看護職者として政策形成に関与する意義やそのあり方について学ぶ。 できるだけ政策を身近な存在として、とらえなおすことができるようケースメソッドを適宜用いて授業を展開する。						
【授業計画】						
回数	授業形態	学習課題	学習内容		備考	
1-3	講義	政策過程の概論	<ul style="list-style-type: none"> 政策形成及び施行のプロセス 政策分析、政策策定のエビデンス 政策におけるステークホルダー間の利害 政策における平等性と公共選択 制度疲労と制度の永続性 			
4-6	講義	保健医療福祉政策の変遷に伴う看護政策の変遷	<ul style="list-style-type: none"> 社会のニーズの変遷と保健医療福祉の提供体制の変遷 保健医療福祉政策の変遷に伴う看護の役割の変化 諸外国と日本の保健医療供給体制 看護関連法令の変遷 「保健師助産師看護師法」 「看護師等の人材確保の促進に関する法律」 その他関連の法令 			
7-9	講義	保健医療福祉の提供体制の適正化と看護	<ul style="list-style-type: none"> 政策の施行に伴う財源確保 看護活動に関連する法令の意味 保健医療福祉政策における看護人材の確保 看護の役割発揮の推進 看護行政の推進 政策提言 			
10-12	講義 演習	看護の社会的（社会経済的）評価の分析	<ul style="list-style-type: none"> 看護活動に関する法令、診療報酬・介護報酬、補助金等を通して看護の社会的評価について分析する。 看護活動の社会経済的評価から看護活動の将来を展望する。 			

13-15	講義 演習	看護人材の質・量的確保に関する政策形成と課題の分析	・看護人材の量的確保と質的確保に関する政策や看護教育の果たす役割についての現状分析や課題抽出を通して将来を展望する。	
<p>【評価方法，評価基準】 討論への参加 20%，プレゼンテーション 30%，レポート 50%</p>				
<p>【テキスト】 (1)看護行政研究会編（2022）：看護六法 令和4年版，新日本法規出版。 (2)日本経済新聞社編（2018）：2030年からの警告 社会保障 砂上の安心網，日本経済出版社。</p>				
<p>【参考書・資料等】 (1)郷仙太郎（1997）：小説 後藤新平 行革と都市政策の先駆者，学陽書房。 (2)真野俊樹（2012）：入門 医療政策 誰が決めるか 何を指すのか，中央公論新社。</p>				
<p>【受講，課題，資料配布等のルール】 プレゼンテーションを行う場合，授業前に人数分をコピーする。 基本的には対面授業とする。ただし新型コロナウイルス感染症の状況などによっては遠隔授業で実施する。</p>				
<p>【教員からのメッセージ】 政策や制度は刻々と動いている。タイムリーに動向や情報を獲得・分析することにより，先見的な視野でもって，活動や課題対応できるような力を獲得してほしい。</p>				
<p>【オフィスアワー】</p>				

授業科目	看護コンサルテーション論 Nursing Consultation Theory	1・2 学年	後期	選択 CNS 選択必修	30 時間	2 単位
担当教員	【氏名】 【所属】 ◎石田 和子 新潟県立看護大学 岡村 典子 同上 永野 充子 順天堂大学 先任准教授 柏木 夕香 新潟県立がんセンター新潟病院 がん看護専門看護師					
【到達目標】						
コンサルテーションの理論を学ぶとともに、看護職を含むケア提供者に対して実際的な問題を解決するのに助けるためのコンサルテーションに必要な知識や面接技術を学ぶ。						
【授業概要】						
講義においてコンサルテーションの理論について、CNS によるコンサルテーションの実際、倫理コンサルテーションについて学習する。また、相談・面接の技法について、講義やロールプレイを交えて学習する。さらに、受講生が相談事例を提供しディスカッションする演習を行う。						
【授業計画】						
回数	授業形態	学習課題	学習内容	備考		
1	講義	コンサルテーションの理論①	CNS の役割としての重要性 コンサルテーションの定義 コンサルテーションのモデル	石田		
2・3	講義 講義	コンサルテーションの理論② コンサルテーションの理論③	コンサルテーションのタイプ コンサルテーションのプロセス	石田		
4・5	講義 演習	CNS によるコンサルテーションの実際	看護師および他職種に対するコンサルテーション コンサルタント・コンサルティ어의精神・情緒面の相互作用とアセスメント コンサルタントの精神衛生と問題への対処	柏木		
6・7	講義	倫理コンサルテーション	倫理コンサルテーションとは 必要な能力 法と倫理 倫理委員会 倫理コンサルテーションの実際	永野		
8	講義	相談・面接の技術と方法①	カウンセリングの面接技術	岡村		
9	講義	相談・面接の技術と方法②	人間関係論の観点から 感情知性理論を面接に活かす	岡村		
10	演習	相談・面接の技術と方法③	ロールプレイ	岡村		

11～12	演習	相談事例に関する事例検討 資料作成のための個別指導	がん看護領域，老年看護領域，地域 看護領域など，各領域から出た相談	自己学 習
13～15	演習	相談事例に関する事例検討	コンサルテーション技術向上のため の課題	石田
【評価方法、評価基準】 レポート 50%およびディスカッション 30%での討議内容 20%				
【テキスト】 必要に応じてその都度提示する。				
【参考書・資料等】 特に指定しない。				
【受講、課題、資料配布等のルール】 講義内容に応じてディスカッションを行う。				
【教員からのメッセージ】				

授業科目	看護教育学 Nursing education	1・2 学年	後期	選択 CNS 選択必修	30 時間	2 単位
担当教員	【氏名】 山下暢子 服部美香	【所属】 群馬県立県民健康科学大学 同上	【氏名】	【所属】		
【到達目標】 看護職者が教育的機能を発揮するために必要な要件を理解し、看護基礎教育・卒後教育・継続教育の場において系統的な教育活動を展開できる能力を修得する。						
【授業概要】 看護教育学の定義・理念・特徴などの理解を前提として、看護基礎・卒後・継続教育に存在する普遍的な要素を学習する。また、それらを前提として、学生個々の興味と関心に応じ、看護基礎・卒後・継続教育の提供に関わる各領域固有の知識・技術を学習するとともに、各領域における問題とその克服に向けた課題を検討し、今後の教育のあり方を展望する。尚、CNS コースの学生はこのうち、看護継続教育グループを形成し、看護ケアの質向上に必要な教育的機能に着目し、看護継続教育の問題と克服について検討するとともに、看護継続教育に必要な知識・技術として研修計画立案・実施・評価について学習する。						
【授業計画】						
回数	授業形態	学習課題	学習内容		備考	
1	講義	授業の意義と学習方法の理解	授業「看護教育学」の目的と展開			
2	講義	看護教育学と看護学教育	看護教育学の定義・理念・構造の理解、看護基礎、卒後、継続教育の理解			
3-4	講義	看護職養成教育の制度	<ul style="list-style-type: none"> ●看護職養成教育の歴史と制度、大学と専門学校による看護職養成の共通点と相違点 ●看護卒後教育（CNS 養成を含む）・看護継続教育（院内教育、認定看護師養成を含む）の歴史と制度 			
5-6 7-10	討議と発表 講義と演習	看護基礎・卒後・継続教育の問題とその克服 授業（研修）計画の作成と評価	<ul style="list-style-type: none"> ●基礎教育グループ・卒後教育グループ・継続教育グループに分かれ、現状の問題と克服について検討する。<u>*CNS コースの学生は継続教育グループを形成する。</u> ●授業（研修）計画の作成と評価に必要な基礎知識と技術 <ul style="list-style-type: none"> ・目的目標の設定・内容の精選と特定 ・一般教授技術の活用・教育評価など ●基礎教育 G・継続教育 G 別に、授業（研修）計画作成・発表の準備として授業科目名、研修名を特定する。<u>*各 G は課外学習として自主演習を行い授業（研修）計画案を作成し、15 回目に発表する。</u> <p><u>*CNS コースの学生は継続教育 G にて演習を行う。</u></p>			

11-14	講義	研究成果を活用した看護基礎・継続教育	<ul style="list-style-type: none"> ●研究成果を活用した看護学実習指導 <ul style="list-style-type: none"> ・看護基礎教育課程に在籍する学習者の特徴を反映した教育の必要性 ・実習中の学生の学習経験の質、直面する問題の診断と診断結果に基づく指導 ●研究成果を活用した看護職者のキャリア発達支援 <ul style="list-style-type: none"> ・成人学習者の特徴を反映した教育の必要性 ・看護スタッフの学習ニーズ、教育ニーズの診断と診断結果に基づく OJT と Off JT の展開
15	学習成果の発表と討議	授業（研修）計画の発表・討議と講評	<ul style="list-style-type: none"> ●看護基礎教育グループ ●看護継続教育グループ（CNS）
<p>【評価方法、評価基準】 授業参加態度 20%、終了レポートもしくはテスト 80%により評価する。</p>			
<p>【テキスト】 杉森みど里他著：看護教育学第 6 版 3 刷, 医学書院, 2018</p>			
<p>【参考書・資料等】 Malcolm S. Knowles:堀薫夫他：成人教育の現代的実践、鳳書房、2015. Malcolm S. Knowles:堀薫夫他：成人学習者とは何か、鳳書房、2013. 舟島なをみ監修：院内教育プログラムの立案・実施・評価第 2 版, 医学書院, 2015 舟島なをみ監修：看護学教育における授業展開, 医学書院, 2013 舟島なをみ監修：看護実践・教育のための測定用具ファイル第 3 版, 医学書院, 2015</p>			
<p>【受講、課題、資料配布等のルール】 適時配布</p>			
<p>【教員からのメッセージ】 看護教育学への理解とともに研究の醍醐味についても伝えたいと思います。</p>			
<p>【オフィスアワー】 授業と会議時間を除く、平日の時間帯。メールにて事前連絡をお願い致します。</p>			